

きらりいわた人

目指せ日本一

全日本中学校陸上競技選手権大会出場

今年(2017年)の8月19日(土)～22日(火)に第44回全日本中学校陸上競技選手権大会が熊本県で開催され、磐田市からは男女12人の生徒が出場することになりました。

全国大会に出場するためには、リレーは県大会で優勝すること、リレー以外の種目は種目ごとに設定されている参加標準記録を指定の大会で突破することが求められます。生徒たちは7月に行わ

平野 友貴

Yuki Hirano



今年から400mを始めて、それが全国大会へとつながったのでうれしいです。最初は抑えて後半に追い付き追い越すスタイルが好きなので、大会では前を走られても諦めずに自分のペースで走り抜きます。

中盤の伸びが自分の強みなので、前半でうまく加速し自分の走りにつなげたいです。後半力むくセがあるので、全国大会の雰囲気にもまれず自分の納得のいく走りをして、全国大会記録の10秒64を超える記録を目指したいです。

平野 智也

Tomoya Hirano



陸上競技選手権大会出場メンバー

学校	学年	名前	種目	自己最高記録
磐田第一中	3年	平野 智也	100 m	10秒77
			200 m	22秒00
神明中	3年	平野 友貴	400 m	50秒49
			200 m	22秒44
	タナカ エドアルド	400 m	50秒35	
		4×100 mリレー	43秒67	
		3年		平良 薫
		3年		粟倉 岳之
3年	石原 旺亮			
竜洋中	2年	鈴木 楓星	4×100 mリレー	
	3年	太田 蒼翔	走り高跳び	1m97cm
	3年	鈴木 成真	棒高跳び	4m00cm
豊田中	3年	鈴木 優花	1,500 m	4分36秒33
			200 m	25秒44
浜松日体中	3年	鈴木 創太	1,500 m	4分02秒31
			3,000 m	8分41秒41

れた県大会で、これまでの練習の成果を發揮し好成績を収め全国への切符を手に入れました。これまでも多くの生徒たちが全国大会に出場してきましたが、近年一度に10人を超える出場者が出ることはありませんでした。

今回のきらりいわた人は全国大会に出場する市内中学生のうち、4人の生徒に大会への意気込みなどの話を聞きました。

太田 蒼翔 Aoto Ota



高跳びの跳んでいる瞬間が楽しくて小学6年生から始めました。跳躍前の最後の踏み込みが課題なので、練習を重ねて日本中学記録の2^{メートル}10^{センチ}を超えたいです。大会の規模が大きくなっても、いつも通りに跳んで記録を目指します。

県大会では自分の走りができ、良い記録を出すことができました。全国大会では硬くならず気持ちよく走りたいです。リレーではバトンパスに磨きを掛け、全国大会記録の42秒77で優勝することを目標にチームで頑張ります。



タナカ エドアルド Eduardo Tanaka